

昭和大学創立90周年祝典開催

昭和大学新聞

学校法人 昭和大学
 発行人 小口勝司
 電話 (3784) 8000 〒142-8555
 東京都品川区旗の台1の5の8
 1部 50円 毎月1回発行

12月号の内容

- 1面
 - ・創立90周年記念式典・記念祝賀会
- 2面
 - ・小口勝司理事長 式辞
 - ・久光正学長 挨拶
 - ・小出良平理事 挨拶
 - ・記念講演「創立90年によせて」
- 3面
 - ・学生海外研修報告
 - ・CCT2019で最優秀演題賞を受賞
 - ・ホーチミン市医科薬科大学歯学部と学部間協定を締結
- 4面
 - ・緑風祭・ホームカミングデーを開催
 - ・推薦入学試験・編入学試験を実施
 - ・近隣小学校の児童が校外授業
 - ・就任のお知らせ
 - ・昭和大学サポート寄付金寄付者氏名・上條記念館座席プレート申込み状況

【問合せ先】

【本紙について：総務課出版係】
 03-3784-8059
 press@ofc.showa-u.ac.jp
 【各種募金・寄付・90周年事業について：企画課】
 03-3784-8387
 【学事について：学務課・大学院課・入学支援課】
 03-3784-8022 (旗の台)
 0555-22-4403 (富士吉田)
 045-985-6503 (横浜)
 03-3784-8026 (入学支援課)

創立90周年記念式典・記念祝賀会 90年の想いを乗せて新たな飛躍へ

昭和大学はその前身である昭和医学専門学校を昭和3年に開校してから、昨年で創立90周年を迎えた。今年5月に記念事業の一環である「昭和大学上條記念館」が竣工したのに合わせて、11月10日に昭和大学創立90周年記念式典（於・上條記念館・記念祝賀会（於・グランドプリンスホテル新高輪）が盛大に挙行された。

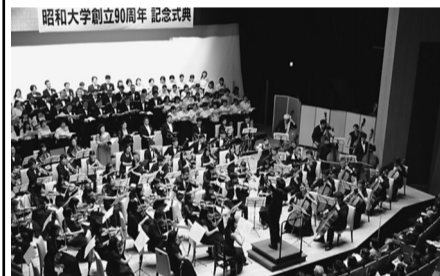
記念式典

昭和大学上條記念館にて執り行われた記念式典には、本学教職員をはじめ創立90周年記念事業への協力者を中心に、約720名が出席した。小口勝司理事長の式辞（2面掲載）から始まり、久光正学長の挨拶（2面掲載）および小出良平理事の挨拶（2面掲載）が続いた。

その後、昭和大学同窓会の山本登会長より祝辞が述べられたほか、本学に多大な貢献をされた方を称える特別功労表彰や上條記念館開館に際する支援への感謝状贈呈、小口理事長による「創立90年によせて」（2面掲載）と題した記念講演が行われた。

第九演奏会 緞帳披露会

当日は記念式典に先立ち、本学学生・職員や卒業生の有志からなる昭和大学上條メモリアル合唱団と昭和大学



学管弦楽団による演奏会が開催された。曲目はベートーヴェンの「交響曲第9番第4楽章」で、指揮はザールブリュッケン音楽大学正教授・新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督である上岡敏之氏が行った。また、ソリストは本学と包括連携協定を締結している洗足学園音楽大学の卒業生が務めた。



記念祝賀会

演奏会後には上條ホテルの緞帳披露会が行われ、本学と包括連携協定を締結している多摩美術大学名誉教授で日本画家の中野嘉之氏の原画「黎明（れいめい）」を基に製作された緞帳が中野氏と同大学美術学部教授の安次富隆氏によって紹介された。

緞帳には蓄光糸が織り込まれ暗闇で富士山が光を帯びて浮かび上がるほか、照明の色や角度を変えることで富士山の夜明けから日没までの移り変わりを表現できると行われた。



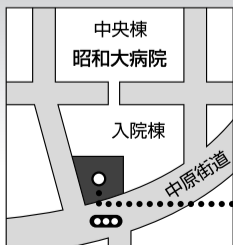
和大学応援歌」および「昭和大学校歌」の斉唱も行われ、無事盛会裏に終了した。

昭和大学上條記念ミュージアム内覧

式典同日には昭和大学上條記念ミュージアム（上條記念館地下2階）の一般公開が始まった。本学の創設から今日までの歴史の変遷や学祖上條秀介博士ゆかりの史料の数々が展示されており、訪れた多くの人が自身の学生時代を思い起こし懐かしみながら鑑賞していた。また、ミュージアム内の「企画展示室」では、アイスホッケー部、グリーククラブ、M A S (Medical All Stars Jazz Orchestra)、白馬診療部の歴史を紹介する第1回企画展が開かれた。創部からの活動記録や賞状、トロフィーなどが飾られ、各クラブの活動の歴史を熱心に見学する人が見られた。

お気軽にご相談を!!

- ◆ 万が一のための保障準備
- ◆ 住宅ローン・資産運用 など



お問い合わせ・ご予約は
 三井住友銀行 旗ノ台支店
 東京都品川区旗の台1-4-15
 TEL. 03-3785-3012

三井住友銀行
 SMBC

医学堂書店

品川区
 旗の台
 電話(03)
 3783-9774



日本調剤株式会社 東京都千代田区丸の内1-9-1 http://www.nicho.co.jp/

学生海外研修報告

「海外研修を終えて」

昭和大学は国際的な視野を持った医療人を育てるため、国際交流プログラム・短期海外研修の企画・実施に力を入れており、ヨーロッパ、アジア、アメリカ、オーストラリア、カナダなどの世界各国の大学や病院に学生を毎年送り出している。

台北医科大学 (台湾)

佐藤 智輝(医学部6年)

私は、4月からの台北医科大学での実習にあたり、大きな目標を2つ掲げました。1つ目は、日本と台湾の医療の違いを感じて学ぶこと、2つ目は現地の学生との交流です。

実習では、回診の前には上級医や学生達と病状や患者さんについて話したことや学生達と病態に対する議論をすることができたこと、そして超音波検査の所見について教えていただいたことなどが特に印象的でした。その他、不妊医療やダヴィンチによる手術見学等の日本の学生実習では回りにくい分野も経験できました。



カリフォルニア大学 (オサンゼルス校(米国))

橘 有理沙(医学部2年)

前年度の海外研修を機に、今度は海外の大学で講義を受けてみたいと思っていました。渡航前に不安はありましたが、好奇心を胸に、カリフォルニア大学ロサンゼルス校への海外研修に挑戦させていただくことになりました。

現地では生理学と英語のクラスを受講しました。現地では体験できないものはたくさんありましたが、全てが順風満帆ではありませんでした。理想と現実のギャップが大きく、苦しくなり海外の大学に進学した友人に連絡をしたことがありました。私がかろう一度思い出すといと助言を

ウィーン医科大学 (オーストリア)

奈良 麻衣(歯学部6年)

私は4月1日から約1か月間、オーストリアのウィーン医科大学歯科病院での実習に参加しました。

国際交流に興味があり、歯学を英語で勉強したいと思っていたため参加を決めました。初めての研修であることから多くの不安がありました。しかし、実習が始まってみると、診療はドイツ語でしたが、質問や先生方との会話は英語で問題がなく、患者さんとも話すことができました。実習内容は治療の見学で、ほとんどの診療科では学生が主体で治療を行っていたため、とても近くで見学させてもらいました。

他にもさまざまな診療科を見学しましたが、その中でも印象に残っているのは口腔外科です。歯科病院で手術を見学し、終了後に執刀していた先生に質問した内容について、スラ



(左) 奈良麻衣さん

アジア太平洋 歯科学生会議(タイ)

田中 佑樹(歯学部4年)

8月1日より5日までタイのパンコクで開催されたアジア太平洋歯科学生会議(APDSEA)に参加し、参加学生が研究発表を行いその評価を競うScientific Research Competition (SRC)にて、演題名「Gene expression profiling in Peripheral Blood Mononuclear Cells treated with zoletronic acid」でポスター発表を行いました。

今回の実習を通じて、歯科治療の考え方や歯科分野だけでなく、英語もさらに向上させて将来に活かしていきたいと思いました。最後になりましたが、支援してくださった方々に感謝申し上げます。

もらい、また頑張ってみようと思えました。

英語のクラスでは先生から直接、何が来て、何が来ていないのか評価をいただけたため、頑張りを認めてもらえた気がして今後の自信につながりました。典子先生、成田先生、齋藤先生とお会いして、自分の意見を述べて思いの共有ができたことは素晴らしい経験となりました。

オックスフォード大学 (イギリス)

杉山 幸翼(薬学部2年)

私は将来、海外でも活躍したいという思いから、語学力向上と海外の文化や習慣に触れ、医療を学び、視野を広げたいと考え、オックスフォード大学での留学を志願しました。

イギリスは、私が初めて訪れるヨーロッパの国です。イギリス英語は聞き取りにくく現地の方との会話には苦労しました。特に外食する際、日本やアメリカとは全く違う習慣やマナーがあり戸惑いました。一方、この滞在を通じ触れたことのないイギリスの文化、大学生活、現地の病院見学などさまざまな経験をし、実際に行ってみないと得られないことを学びました。



SRCでの発表の様子

今回の研修では国際社会の中で自分がどの立ち位置

今年3月に履修した口腔生化学教室での「研究入門」に参加させていただき、基礎研究が大変興味深かったためSRCにて発表をさせていただきました。他国の学生と研究内容や学習内容の話しで大変盛り上がり、歯科学生同士の貴重な交流となりました。アジア諸国において歯学部レベルはとて高く、学生が早い時期から患者さんに対する治療をおこなう国が多いなど、日本との違いにも驚かされました。また、海外において歯科医療を学ぶことは違った視点を持つために大変興味深いと感じました。

来年はカンボジア、再来年は日本での開催が予定されています。昭和大学からもぜひ多くの学生が参加することを願っています。

今回の参加および発表に際し、ご指導賜りました上條竜太郎先生、山田篤先生、笹清人先生、口腔生化学教室の先生方ならびに国際交流センターの先生方、ご協力いただきました全ての皆さまにこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

歯学部が学部間協定を締結

「ホーチミン市医科薬科大学歯学部」

昭和大学歯学部はホーチミン市医科薬科大学(Ho Chi Minh City)と学部間協定を締結した。

調印式は10月9日、ホーチミン市医科薬科大学で行われ、本学からは、宮崎隆啓貴歯学部国際交流委員長、橋本みゆき国際交流センター教授とマイヤースマイク国際交流センター講師が出席し、ホーチミン市医科薬科大学は、Ngo Thi Quy Lan 歯学部長、To Mai Xuan Hong 国際交流センター長をはじめ関係者が出迎えた。これを期に学生・教員の交換や共同研究などにおいて活発な交流活動が期待される。

本学ではグローバル活躍する医療人の育成を見据えて、海外との学術交流を積極的に推進しており、カ

生による医療講義は特に印象に残っています。EUで歯科の学位を持つ人はEU加盟国内で歯科医として働くことができます。実際、説明してくれた先生はスペイン人でした。地域の病院では、独自の評価基準で、心拍数や体温などの患者のバイタルに点数をつけて健康状態を把握していることを知りました。また、大学の先生の講義は、ただ話を聞くのではなくテーマに対し自らの意見を発言し、ペアやグループで討論することが多く、クイズ形式のゲームを行うこともあり、楽しみながら語学力を向上させることができました。

短い期間ではありましたが、このような機会を与えて下さった多くの方々に感謝申し上げます。



市内の医療施設見学、オックスフォード大学医学部の学生による医療講義の様子



調印式の様子

大澤三和技術員がCCT2019で最優秀演題

CCT2019 (Complex Cardiovascular Therapies) が10月24日、26日、神戸ポートピアホテルで開催され、大澤三和技術員(藤が丘病院放射線技術係)の「心臓カテーテル検査における動態血管ファントムを用いた画質調整と画像処理評価」が最優秀演題に選ばれ表彰された。

CCTは2001年に立ち上げられ、ライブデモンストレーションやポスターセッション、各セミナーなどが開催され、世界中から5,000名以上の参加者が集まる国内最大規模の心臓血管治療の学会として海外からも注目を集めている。

大澤三和技術員のコメント

循環器領域の検査(心臓カテーテル検査、CT、MRIなど)に関連する多岐にわたる診療放射線技師の演題の中からご評価いただきました。現在、心臓カテー



今回の経験を励みに今後診療放射線技師として日々継続していききたいと思っております。

近隣小学校の児童が校外授業 旗の台キャンパスで体験学習

近隣の品川区立第二延小 小学校の5年生102名と品川 区立清水台小学校の5年生 10名と6年生19名が11月11 日、旗の台キャンパスで医 師・歯科医師・薬剤師・看 護師の仕事を経験する校外 授業を行った。本学では地 域社会との交流を盛んに進 行っており、この校外授業受

また、高宮有介教授(医学 部医学教育講座)の「いの ちの授業」では、命の尊さ と生きる意味や生きる役割 についての考え方を学び、 その後のワークシヨップで 自身が感じたことを発表し 合った。 参加した児童からは「薬の 大切さを知り、自分がやっ ていることに責任を持つこ との大切さが改めて分かり ました」「いのちの授業を 聞いて、病気で生きられな い人もたくさんいることを



内視鏡手術シミュレーション操作

緑風祭・ホームカミングデー 開催

第23回緑風祭が10月26日 と27日の2日間、横浜キャンパスで開催された。 ステージ企画や各種模擬 店に各学科の体験コーナー、 さらに教員によるバザー& カフェが開かれ、キャンパス内は賑わいを見せた。 また、10月27日には第12 回昭和大学ホームカミング



昭和大学 ホームカミングデー

推薦入試・編入学試験を実施

令和2年度推薦入試・編入学試験が11月17日、旗の台 キャンパス全体で学生や来 てくださったお客さんに笑 顔が見られ、2日間ともと も良い雰囲気を感じること ができました。多少のト ラブルはありましたが、そ れを乗り越え無事に終える ことができました。楽しく、 思い出に残るような2日間 となったと感じています。 来年度以降もよりよい緑 風祭を開催できるように新し い実行委員会に期待してい

緑風祭を終えて 緑風祭実行委員長 三樹亮太 (保健医療学部 理学療法学科3年) 私は委員長のような重役 を今まで経験したことがな く、最初は自分に務まるか 不安もありました。しかし、 委員長一人で仕事をしてく いたわけではなく中核となる 本部の学生がいて、各企画 やキャンパスの装飾などに 携わった多くの学生の協力 があり、大勢に仕事を 割り振って任せるのは苦 手でしたが、実行委員のみ なが率先して協力してく れてとても助けられ、支え られました。 緑風祭は2年ぶりの屋外 の開催となり、より多く の人に来ていただき楽しん



学部	試験区分	試験日	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
医学部	推薦	11月17日	2	2	2	2
歯学部	推薦		25	48	48	25
	編入学		若干名	12	11	2
薬学部	推薦		55	90	90	55
保健医療学部	看護学科 推薦	30	95	95	31	
	看護学科 編入学	10	3	3	2	
	理学療法学科 推薦	5	15	15	5	
医学部附属 看護専門学校	作業療法学科 推薦	10	11	11	8	
	推薦	11月2日	70	138	138	75
学士	10		21	17	8	



試験場入りする受験生

キャンパスで実施された。 11月19日には合格者が発 表となり、掲示板に貼られ た合格番号を確認する受験 生らの様子が見られた。 11月2日には医学部附属 看護専門学校でも推薦入試 ・学士・短大士選抜入試 が行われ、今年も多く志 願者が集まった。 志願者数および合格者数 は表のとおり。

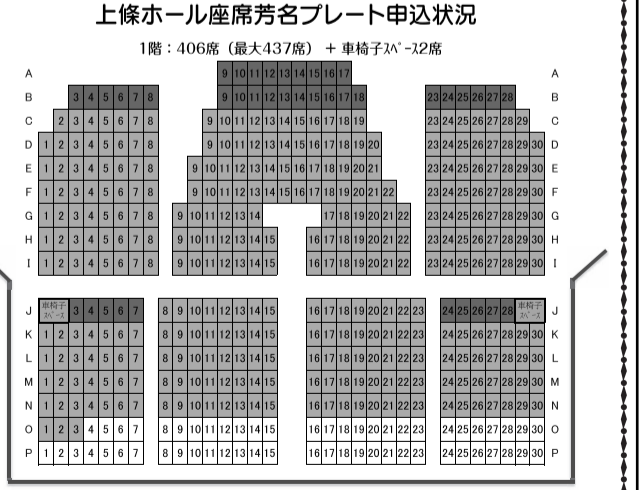
就任のお知らせ (11月12日 理事会承認)

<p>川崎 恵吉 医学部整形外科学講座担当 教授 (勤務地: 昭和大学横浜市北部病院 外科系診療センター(整形外科)) 前: 医学部整形外科学講座担当 准教授 (勤務地: 昭和大学横浜市北部病院 外科系診療センター(整形外科)) 任命日: 令和元年12月1日</p>	<p>緒方 浩顕 医学部内科学講座(腎臓内科学部門)担当 教授(員外) (勤務地: 昭和大学横浜市北部病院 内科系診療センター(内科)) 前: 医学部内科学講座(腎臓内科学部門)担当 准教授 (勤務地: 昭和大学横浜市北部病院 内科系診療センター(内科)) 任命日: 令和元年12月1日</p>
<p>藤澤 邦見 医学部眼科学講座担当 教授(員外) (勤務地: 昭和大学横浜市北部病院 外科系診療センター(眼科)) 前: 医学部眼科学講座担当 准教授 (勤務地: 昭和大学横浜市北部病院 外科系診療センター(眼科)) 任命日: 令和元年12月1日</p>	<p>小谷 透 医学部集中治療医学講座 講座責任者 現: 医学部集中治療医学講座担当 教授 (勤務地: 昭和大学病院集中治療科) 任期: 令和元年11月12日~ 令和4年3月31日</p>
<p>榎田 めぐみ 保健医療学部保健医療学 教育学担当 教授 前: 保健医療学部保健医療学教育学担当 准教授 任命日: 令和元年11月12日</p>	<p>佐藤 満 保健医療学部理学療法学科 (主担当科目: 理学療法治療学) 教授 前: 保健医療学部理学療法学科(主担当科目: 理学療法治療学) 教授(員外) 任命日: 令和元年11月12日</p>
<p>西中 直也 保健医療学部理学療法学科 (主担当科目: 理学療法治療学) 教授(員外) 前: スポーツ運動科学研究所 准教授 (勤務地: スポーツ運動科学研究所) 任命日: 令和元年11月12日</p>	<p>井上 永介 昭和大学統括研究推進センター 教授(員外) 現: 聖マリアンナ医科大学医学情報学 教授 採用予定: 割愛日</p>

昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方々 (令和元年10月1日~10月31日ご入金分)

- 上條奨学基金への寄付 [同窓] 向井 一光 様(医学部・62回生)
- 教育研究協力資金への寄付 [父母] 雨宮 泰博 様
- 医学部への寄付 [同窓] 田崎 博之 様(医学部・33回生)
- 創立90周年記念事業への寄付(上條記念館建設) 目標寄付金額: 10億円 累計寄付金額: 854,786,809円(令和元年10月31日現在) ※上條記念館建設事業へ累計100万円以上のご寄付をされた方は上條ホール座席へ芳名プレートを設置し、顕彰させていただきます。(申込状況は下図参照)
- [父母] 森田 辰男 様 / 森田 淳子 様 / 具志堅 直樹 様
- [同窓] 前田 昌子 様(歯学部・20回生) / 佐野 佳弘 様(薬学部・26回生) / 神谷 憲太郎 様(医学部・34回生) 向井 一光 様(医学部・62回生) / 川邊 修二 様(医学部・50回生) / 濱田 亮太 様(歯学部・4回生) 桜井 洋 様(医学部・41回生) / 薬学部10回生 みんなの同窓会 様 / 葉 紹誠 様(歯学部・4回生) 医療法人社団岡昭会 様 (医学部・74回生) 西谷 直之 様(薬学部・27回生)

昭和大学上條記念館 上條ホール



対象席数396席 既申込数339席 令和元年10月31日現在

※色塗り部分が既申込席、残り57席のお申し込みを随時受け付けております

※創立90周年記念(上條記念館建設)事業に対し累計100万円以上お申し込みをいただいた方が対象

※前方2列(31席)および車いす席(10席)はプレート設置対象外です

【備考】 ※申込順となっております。 ※名前の公表を希望されない方については、掲載しておりません。 ※申込時に同窓欄へ記載があった方につきましては、名前の後に学部と卒業回生を掲載しております(職員は除く)。